



アサリ漁(マンガ)  
海底で籠を振り、中に入った貝や石から、アサリを選別する漁師。

## アサリ漁

### ◆腰マンガ漁

マンガ(柄のついた鉄籠)を腰につなげて小刻みに振



### ◆小型機船底びき網漁

り、先端の歯で海底を掘り起こしながらアサリを採ります。漁は年中行われますが、一番おいしい時期は、3月から5月。旬のアサリは大きく、身が詰まっております。濃厚な味わいが評判です。

## 腰マンガ漁の秘密道具



#### 胴長(胴付き長靴)

腰まで海に入って行う腰マンガ漁には欠かせないゴム製の防水ズボン。

#### 腰ベルト

全身の力でマンガの歯を引くために、鎖を体に固定するベルト。ホースで自作する人もいます。

#### 籠

採ったアサリを入れる籠。籠が沈まないようにチューブの浮き輪を付けている。



#### マンガ

約8kgの鉄籠に柄を付けた道具。アサリや石が入った後は、20kgほどにもなる。鎖で腰につなぎ、全身を使って海底を掘る。

### ◆乱獲を防止

一度に採ることができませんが、大きな漁船やたくさん燃料が必要となる大規模漁法です。海産物は限りのある資源です。小さなアサリを取り過ぎると、翌年以降の漁獲量に悪影響を及ぼします。

腰マンガ漁では、マンガの目の幅を調整し、12mmより小さいアサリはすり抜けるようにしており、乱獲を防いでいます。

### 大きくなってもアサリ

恋路ヶ浜などで売られている大アサリは、大きくなったアサリではなく、「ウチムラサキ」という二枚貝です。味を比べてみてください。それぞれ違った味わいがあります。



### どっちが背中?

腹



背中

アサリなどの二枚貝は、前後左右があります。蝶番(貝のつなぎ目)の部分が背、殻が開く方が腹にあたります。貝殻も右の殻、左の殻があり、二枚の殻を繋げる靱帯がある方が後ろになり、左右も決まります。

### アサリ豆知識

知ってるようで知らないアサリのこと

